

I. 仙台城址・青葉山地域の哺乳類

小山 均^{*}・高橋 修^{*}

はじめに

青葉山地域の哺乳類については、小野（1979）の調査があり、ホンシュウモモンガ、ニッコウムササビなどのように注目される種を含む哺乳類が残存して生息しており、青葉山地域を動物の生息域として貴重な地域であるとしている。

今回の実施した哺乳類の調査では、別項の「小型哺乳類」調査を主としたこともあり、また、夜間活動性のものが多いため行動中の個体を直接目撃する機会も少ない等、動物相を把握するには十分な状況ではなかった。しかし、調査期間中に直接あるいはフィールドサイン等により確認した哺乳類もいくつかあり、ここでは、これらについて報告する。

資料については東北大学理学部附属植物園（以下、植物園と略す）に負うところが多い。また、鳥類調査担当の竹丸勝朗氏からは、植物園および竜の口渓谷等での資料の提供があった（図1）。

哺乳類相と分布

食虫目 INSECTIVORA

モグラ科 TALPIDAE

ホンシュウヒミズ

Urotrichus talpoides hondonis THOMAS

- ・1989年9月29日10月7日の間に植物園内に設置した墜落缶で、3頭を捕獲した。
- ・1989年5月7日、植物園カタクリ坂で死体1頭を確認した（竹丸私信）。

アズマモグラ

Mogera wogura TEMMINCK

- ・1989年12月、植物園正門付近にいくつものモグラ塚がみられた。

* 宮城野野生動物研究会（仙台市青葉区小田原5-2-47）

仙台城址およびその周辺地域の動物



図1 哺乳類の目撃地点. 斜線部は足跡があった地域.

翼手目 CHIROPTERA

ヒナコウモリ科 VESPERTILIONIDAE

ヒナコウモリ

Vespertilio superans THOMAS

仙台城址およびその周辺地域の動物

・1989年11月1日、植物園研究棟前にうずくまっていた♂1頭が、遠田宏氏により採集された。本種は本州中部以北に分布し、古川市における捕獲記録があり、しばしば人家内で越冬すると言う（今泉、1960）。

捕獲されたヒナコウモリの測定値（mm）は次の通りであった。

体重	全長	頭胴長	尾長	後足	耳長	耳末(前線)	前腕長	下腿長
13.0 g	102.0	65.6	36.4	9.0×4.0	15.0	5.0	48.0	18.0

ニホンヤマコウモリ

Nyctalus lasiopterus aviator THOMAS

・1989年11月6日、仙台市青葉区川内地区で保護された♂1頭が、1990年1月8日現在八木山動物公園で保護飼育されている。左前腕骨が骨折している。前腕の長さ58.5 mm。

げっ歯目 RODENTIA

リス科 SCIURIDAE

ニホンリス

Sciurus lis TEMMINCK

・1989年8月29日、追廻の市緑地課苗圃跡地で1頭目撃、同年12月16日植物園内で1頭目撃した（「小型哺乳類調査」調査地点L付近）。

・1989年5月28日、青葉城駐車場入口付近で1頭目撃、8月19日、追廻の苗圃跡付近で1頭を目撃した（竹丸私信）。

ニッコウムササビ

Petaurista leucogenys nikkonis THOMAS

・1989年9月26, 27, 29, 30日の日没後に、声を確認したり、あるいは滑空中の個体を植物園内で目撃した。目撃したのはいずれも植物園正門に面したモミ林であるが、声は展示館上部斜面林内と沢道砂防堤付近で記録した。

ネズミ科 MURIDAE

ホンドハタネズミ

Microtus montebelli m. MILNE-EDWARDS

仙台城址およびその周辺地域の動物

ホンドアカネズミ

Apodemus speciosus s. TEMMINCK

ホンドヒメネズミ

Apodemus argenteus a. TEMMINCK

食肉目 CARNIVORA

イヌ科 CANIDAE

ホンドタヌキ

Nyctereutes procyonoides viverrinus TEMMINCK

・1989年9月26, 30日の日没後, 植物園内外で目撃した。目撃回数は5回。場所は植物園正門前の芝生がほとんどで, 植物園外では大学構内道路のロータリー付近で1回ある。成獣1, 幼獣2頭が同時に現われた(9月30日)以外は, 成獣が単独で現われている。正門の芝生では採餌行動をしているのが頻繁に観察された。また, 本種も利用していると考えられるけもの道が中島池跡のスキ草地に縦横に走っていた。

・1989年5月7日, 植物園中央コース入口付近でタヌキの臭気あり。8月16日, 東北大学工学部付近で幼獣2頭目撃, 9月3日, 同工学部付近で幼獣死体1頭(交通事故死), 12月23日, 竜の口沢内でタヌキの足跡を確認した(竹丸私信)。

ホンドキツネ

Vulpes vulpes japonica GRAY

・1989年5月7日, 植物園見晴台付近で1頭を目撃した(竹丸私信)。

イタチ科 MUSTELIDAE

ホンドイタチ

Mustela sibirica itatsi TEMMINCK

・1989年12月16日, 植物園望洋台から見晴台に至る工学部沿いの園路上, 送電線の下付近の2カ所で糞を確認した。

・1989年12月23日, 竜の口沢内でタヌキの足跡とともにイタチの足跡を確認した(竹丸私信)。

ジャコウネコ科 VIVERRIDAE

ハクビシン

Paguma larvata HAMILTON-SMITH

・1988年8月, 竜の口渓谷に架かる八木山橋の右岸側のたもとで, ♂成獣1頭の死体が拾得され, 仙台市科学館に届けられた。この個体は, 現在は剥製標本として仙台市

片平市民センターで展示されている。

・東北大学理学部関係者より、最近植物園内で行動中のハクビシンを目撃したとの情報が寄せられた。

今回の調査で出現した哺乳類は、6科11種類である。このほかの種類について、青葉山保存緑地調査報告書（小野、1979）には青葉山地域にすむ哺乳類として、次の種類があげてある。

リス科 SCIURIDAE

ホンシュウモモンガ

Pteromys momonga TEMMINCK

イタチ科 MUSTELIDAE

ホンドテン

Martes melampus m. WAGNER

また、トウホクノウサギについては、調査報告書当時において激減しているが、青葉山地域から八木山地域にかけて、なお残存していると述べている。

ウサギ科 LEPORIDAE

トウホクノウサギ

Lepus brachyurus angustidens HOLLISTER

引 用 文 献

小泉吉典. 1960. 原色日本哺乳類図鑑. 保育社.

小野泰正. 1979. 青葉山保存緑地報告書. 青葉山保存緑地調査臨時専門委員会.